

4. 「自然災害伝承碑」をご存知ですか？

「自然災害伝承碑」とは

- ・過去に発生した自然災害の様相や被害状況などを記載した石碑やモニュメントです。
- ・被災場所に建てられていることが多く、当時の被災状況を伝えるもので、地域住民による防災意識の向上に役立つことが期待されます。
- ・一宮川流域でも5つの自然災害伝承碑が確認、登録されていますが、まだ、確認されていないものがある可能性があります。自然災害伝承碑を発見された場合は、ご一報をお願いします！



一宮川流域通信

千葉県 一宮川改修事務所
 茂原市 茂原 1102-1
 TEL 0475-26-3703
 FAX 0475-26-3706

新年のご挨拶

一宮川流域の皆様へ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 さて、本号では、シンポジウム等の開催報告、上流域・支川の河川整備の新規事業化等に関する知事・流域市町村長の国への要望活動、事業の進捗状況、自然災害伝承碑についてお知らせいたします。
 令和元年の浸水被害から丸2年が経過し、改めて、事務所職員一同、一日も早く事業を完了させるよう全力で取り組む所存でございますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



一宮川改修事務所 所長 古橋 保孝

1. 一宮川流域治水シンポジウム、ポスター展を開催しました!!!

一宮川流域では、令和元年10月25日の大雨による甚大な浸水被害や気候変動に伴う豪雨の激甚化・頻発化を踏まえ、一宮川水系流域治水プロジェクトを推進しています。
 一宮川水系流域治水プロジェクトは、河川整備を加速させるとともに、流域内のあらゆる関係者が協働して水害の軽減に取り組むものであり、一宮川中上流域においては、各家庭や田んぼなどで雨水を貯めて河川にゆっくり流す取組、浸水する恐れのある区域における建築の工夫などが検討されています。
 この度、一宮川水系流域治水プロジェクトについて、より多くの住民の方、企業の方に知っていただき、更に流域全体に取組を広げていくため、一宮川流域治水シンポジウム及びイベントとしてポスター展を開催しました。
 シンポジウムの基調講演及びパネルディスカッションの動画、ポスター展のポスターは県一宮川改修事務所HPにてご覧いただけます。



東京大学生産技術研究所 加藤教授の基調講演



パネルディスカッション



ポスター展の様子

(一宮川流域治水シンポジウム)
 開催日時：令和3年12月12日(日)
 会場：茂原樟陽高等学校 文化ホール
 内容：①基調講演
 ②パネルディスカッション



動画配信はこちら

(一宮川流域治水ポスター展)
 日時：令和3年11月23日(火)
 会場：茂原ショッピングプラザ・アスモ
 内容：①令和元年10月25日水害の概要
 ②水害時の対応、応急対策
 ③甚大な浸水被害が発生した要因
 ④一宮川流域における河川整備、内水対策
 ⑤更なる豪雨への対応、流域治水



展示ポスター一覧はこちら

平成30年7月豪雨災害時の救助活動の様相 (写真提供：大阪府警察)



ウェブ地図「地理院地図」における表示イメージ (アイコンで表示されます)



一宮川流域の自然災害伝承碑



5. 次号の一宮川流域通信について

次号 (vol.9) の一宮川流域通信は、令和4年4月以降に、以下をお知らせする予定です。
 なお、事務所HP (下記QRコードまたは検索エンジンにて検索) に掲載、各市町村役場にて配布中です。

- ① 令和3年度の事業進捗
- ② 令和4年度の事業見通し など



千葉県 一宮川改修事務所
 茂原市 茂原 1102-1
 (長生合同庁舎4階)
 TEL 0475-26-3703
 FAX 0475-26-3706



2. 一宮川流域における治水対策の強化に関する国要望活動について

- 一宮川上流域・支川における河川整備の新規事業化
- 一宮川中下流域における予算確保
- 上記の他、流域治水の推進に必要な予算確保などについて、千葉県知事及び一宮川流域市町村長が、国に対してオンライン面会で要望しました。

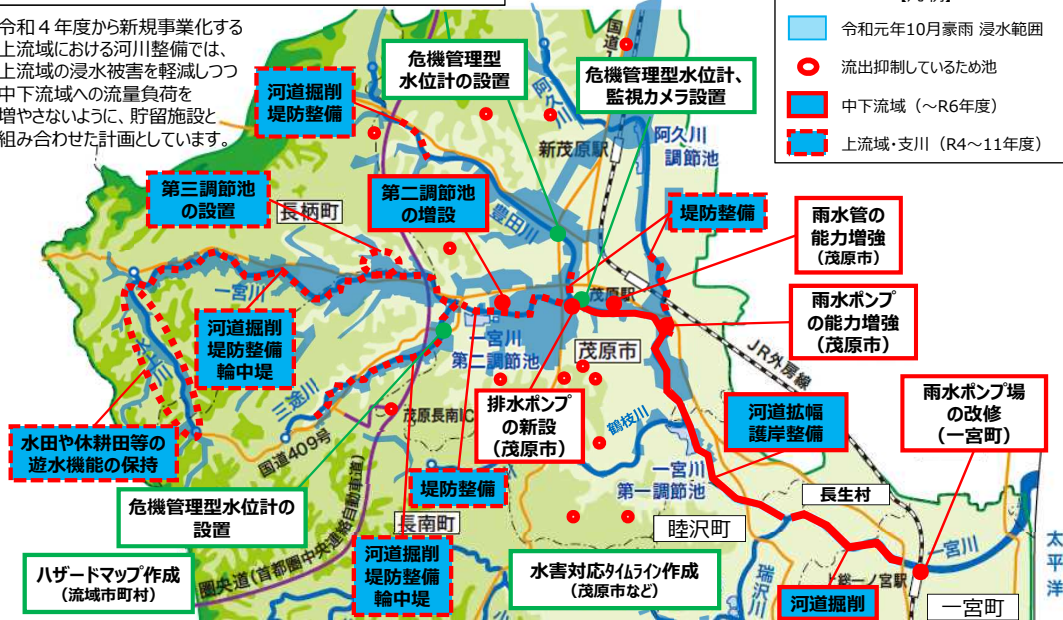
国からは、「流域全体の取り組みを、一生懸命支えています」などのコメントをいただきました。

- 1 実施日 令和3年11月25日(木)
- 2 要望先 高村 正大 財務大臣政務官
井上 智夫 国土交通省
水管理・国土保全局長
- 3 要望者 千葉県知事
茂原市長、一宮町長、睦沢町長、
長生村長、長柄町長、長南町長



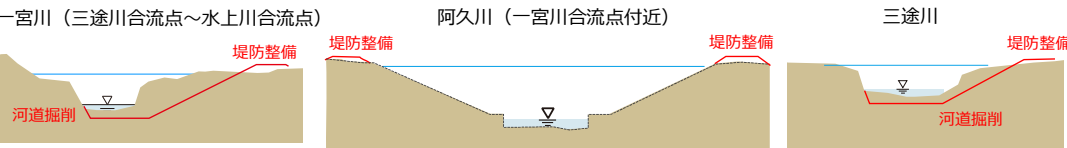
一宮川流域における河川整備、内水対策など

令和4年度から新規事業化する上流域における河川整備では、上流域の浸水被害を軽減しつつ中下流域への流量負担を増やさないように、貯留施設と組み合わせた計画としています。



一宮川上流域・支川の河川整備イメージ

イメージであり、箇所によって構造は異なります。



3. 事業の進捗状況について

(1) 河川整備

市街地における堤防高上げや、下流の川幅を広げる区間の橋梁架け替え工事を実施しています。



(2) 流域対策

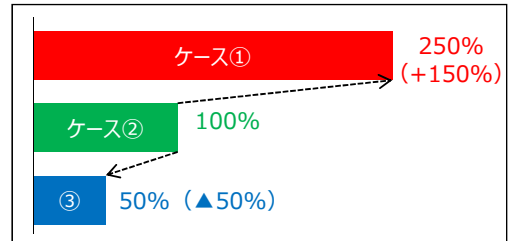
① 田んぼダムの試験施工（速報）

12月15日に茂原市部会農業分科会を開催し、田んぼダムの試験施工の速報を共有しました。

10月1日の大雨時に計測したデータを元に令和元年10月の大雨が降った場合のシミュレーションを実施したところ、試験区下流の農業排水路のピーク流量は田んぼダムにより約50%低減できました。（逆に田んぼが無くなった場合、約150%増大）

田んぼダムを広域に展開した場合、浸水被害の軽減にどの程度の効果があるか、引き続き、検討していきます。

ケース① 田んぼが無くなって埋め立てられた場合
ケース② 現況
ケース③ 田んぼダムありの場合 の3ケースで、令和元年10月の大雨が降った場合のシミュレーションを実施
→ 試験区下流の農業排水路のピーク時の流量を算定



② 建築ルール

11月17日に長南町部会、12月23日に長柄町部会を開催し、一宮川上流域及び三途川における河川整備、輪中堤等の浸水防止対策及び建築ルールについて合意されました。

一宮川上流域及び三途川では、河川整備により県内河川の整備水準の降雨（1/10降雨）は氾濫しないようになりますが、令和元年10月規模の大雨では氾濫が残ってしまうため、既存家屋は輪中堤等で床上浸水被害を解消するとともに、輪中堤の外については、新たに建築する際のルールを設けることとしています。

